にしていない人にとっては読みにくいかもしれない．しかし，そのぶん遠回しではあるが本音が随所に語られており，大変興味深く読める．印刷部数も少ないだろうから，買うのなら今のうちである．

以上，論文の書き方に関する本を三冊紹介してきた．もちろん，冒頭にも述べたとおり，これらの本を読んだからといって決して論文を楽に書けるようになるわけではない．ただ，楽に書けるようにはならないが楽に書けなかった理由は明らかになる（はずである）．最後に，たいへん長くなるが，今回これらの本を読み返してみて最も印象に残った次の一文を引用してこの小文を終えることにする（"科学英語論文のすべて" p. 55-56 より）．

> 筆者はよく "Introduction" と第一ページに書いたまま後が続かずに一週間も悩んでいることがある．最近悟ったことだが，これは未だその論文で言わんとする内容が充分結晶していない時の症状である．こういうときには，最低限この論文で言うべきことは何か，何が面白いのか，また新しいことは何か，と考える．そして論文の焦点を絞る努力をする．良い論文を書く上で第一に重要なのは "焦点を絞る" ということである．こういった作業はもちろんある実験なり理論なりの仕事を始める以前によくしておくはずのことであるが，現実的にこの作業に直面させられるのは実際に論文を書く段階になってからのことが多い．この段階で考えを整理する助けとしてつぎの様な質問を自分自身にしてみるのがよい．
>
> (a) 現在までに分かっている事は何か?
> (b) 何を新しく知ろうとしてこの仕事をしたのか?
> (c) 何故この仕事の結果が重要なのか，何が面白いのか?
> (d) 実際の仕事の結果として分かったのは何か?
> (e) この結果はその分野の中でどの様な意味があるのか?
>
> この様な問に自信ある答が出せれば，後は論文を書くのが非常に楽になる．何日も "悩んでいる" というのは上の問 (a)〜(e) に対する答のお互いの相関がうまくいかずに矛盾がある状態の事だと思われる．この矛盾を残したままで論文を書くと，焦点のボケた "作品" になってしまう．……（後略）……

滞米生活四半世紀に近い国際的に活躍する日本人物理学者の弁である．

（宮 正樹 Masaki Miya）

図書紹介・New Publications

魚類学雑誌
40(1): 120-122, 1993

魚類相

Fishes of the Bahamas and Adjacent Tropical Waters, 2nd ed.—James E. Böhlke and Charles C. G. Chaplin. University of Texas Press, Austin, USA. xlviii＋771 pp., 36 pls. ISBN 0-292-70792-4. ca. ¥20,000. 名著の再版．体裁などに大きな変更はないが，学名や科名の変更，初版以後にバハマ海域から記録された魚類の説明などが付いている．(KM)

The Rockpool Fishes of New Zealand.—Chris D. Paulin and Clive D. Roberts. 1992. Museum of New Zealand, Wellington, New Zealand. xii＋177 pp., 32 pls. ISBN 0-908953-01-1. US$ 38.00 (postage included). ニュージーランドの岩礁に生息する魚を収録．多くのカラー写真と図を使用し，検索表，各種の説明を備えた本格書．(KM)

魚類分類学・進化学

Squalean Phylogeny: A New Framework of "Squaloid" Sharks and Related Taxa.—Shigeru Shirai. 1992. Hokkaido University Press, Sapporo, Japan. iv＋151 pp, 58 pls. ISBN 4-8329-0276-8. ¥8,240（税込）．日本人でもこれだけスケールの大きな仕事ができるのだ，という見本のような本．このようなアカデミックな本を出版した北海道大学図書刊行会の英断にも拍手．便利な日本語要約付き．(MM)

Systematics, Historical Ecology, and North American Freshwater Fishes.—Richard L. Mayden (ed.). 1992. Stanford University Press, Stanford, California, USA. xxi＋969 pp. ISBN 0-8047-2162-9. ¥8,000. 質，量ともに，現代における米国魚類進化学の到達点を示すような素晴らしい本．全部で 30 もの章からなり，淡水魚のことだけでなく，分類学や生物地理学の理論そのものに関する章までたくさん付いてくるお買い得本．(MM)

分類学・進化学一般

Principles of Systematic Zoology, 2nd ed.—Ernst Mayr and Peter D. Ashlock. 1991. McGraw-Hill, New York, USA. xvi+475 pp. ISBN 0-07-041144-1. $39.95. 失礼ながらまだ生きていたのかという進化分類学の大御所 Mayr とその理論形成に大きな役割を果たした Ashlock (故人) による分類学の標準的教科書の第2版. 旧版と同じ部分もかなりあるが, Ashlock により新たな章がかなり書き加えられている. 英語の読みやすさは相変わらず. この点だけは分岐分類学者も見習うべき. (MM)

MacClade Version 3.—Wayne P. Maddison and David R. Maddison. 1992. Sinauer Associates, Sunderland, Massachusetts, USA. xi+398 pp with a 3.5 inch floppy disk. ISBN 0-87893-490-1. ¥15,990. ついに出た!! 系統分類学・生態学・行動学研究者待望の分岐図の"操作"ソフト+それだけで分岐分類学の最先端の教科書となる分厚いマニュアル. いよいよ"サルでも描ける系統樹"の時代到来か? もちろん Macintosh 上 (Plus 以上) でしか動作しません. (MM)

Cladistics: A Practical Course in Systematics.—Peter L. Forey, Christopher J. Humphries, Ian J. Kitching, Robert W. Scotland, Darrell J. Siebert, and David M. Williams. 1992. Clarendon Press, Oxford, UK. xi+191 pp. ISBN 0-19-857767-2. 理論から実践まで幅広いトピックを取り上げた分岐分類学の上級入門書. イギリスにおける分類学衰亡への危機感から催されたセミナーに基づく著作. 最先端の情報もかなりの部分網羅している. (MM)

PAUP: Phylogenetic Analysis Using Parsimony, Version 3.1.—David L. Swofford. 1993. Computer program distributed by the Illinois Natural History Survey, Champaign, Illinois, USA. $100.00. MacClade に続いて正式にリリースされた系統解析の定番ソフト PAUP. 254 ページからなる懇切丁寧なマニュアル付き. 現在のところ Macintosh 版しかでていないが, 将来的には IBM PC 版もリリースするとのこと. 申込用紙を Center for Biodiversity, Illinois Natural History Survey, 607E Peabody Drive, Champaign, Illinois 61820, USA 宛てに請求し, 必要事項を記入した申込用紙に為替等を同封して入手するシステムになっている。 (MM)

魚類生態学・行動学

Ecology of Teleost Fishes.—Robin J. Wooton. 1990. Chapman and Hall, London, UK. ix+404 pp. ISBN 0-412-31720-6 (cloth). ISBN 0-412-31730-3 (paper). ¥11,900 (cloth). ¥5,080 (paper). 魚類生態学の教科書. (TK)

Fish-marking Techniques. American Fisheries Society Symposium 7.—Parker, N. C., A. E. Giorgi, R. C. Heidinger, d. B. Jester, Jr., E. D. Prince and G. A. Winans. (ed.). 1990. American Fisheries Society, Bethesda, Maryland, USA. ISBN 0-913235-59-8. 879 pp. ¥16,380. 魚類の標識方法とそれを用いた調査方法に関する論文集. (TK)

Reproductive Seasonality in Teleosts: Environmental Influences.—Angus D. Munro, Alexander P. Scott and T. J. Lam (eds.). 1990. CRC Press, Boca Raton, Florida, USA. 254 pp. ISBN 0-8493-6875-8 ¥34,000. 硬骨魚類の繁殖シーズンに関する総説論文集. (TK)

The Ecology of Fishes on Coral Reefs.—Peter F. Sale. (ed.). 1991. Academic Press, San Diego, California, USA. xviii+754 pp. ¥14,690. サンゴ礁魚類の摂食, 繁殖, 群集生態などに関する総説集. (TK)

Cichlid Fishes: Behaviour, Ecology and Evolution. Fish and Fisheries Series 2.—Miles H. A. Keenleyside (ed.). 1991. Chapman and Hall, London, UK. xxi+378 pp. ¥10,200. カワスズメ科に関する総説集. (TK)

Fish Ecology.—Robin J. Wooton. 1992. Blackie and Son, London, UK. x+212 pp. ISBN 0-412-02921-9 (cloth). ISBN 0-412-02931-6 (paper). ¥5,380 (paper). 魚類生態学の学生向け入門テキスト. (TK)

Behaviour of Teleost Fishes, 2nd ed. Fish and Fisheries Series 7.—Tony J. Pitcher (ed.). 1993. Chapman & Hall, London, UK. xx+716 pp. ISBN 0-412-42930-6 (hard). ISBN 0-412-42940-3 (paper). ¥25,180 (hard). ¥10,780 (paper). 硬骨魚類の行動に関する総説 19 篇. 遺伝, 発生, 感覚, 摂食, 繁殖, 個体差, 日周期, 水産的応用など. (TK)

生態学・行動学一般

行動生態学入門. —柏谷英一. 1990. 東海大学出版会, 東京. x+316 pp. ISBN 4-486-01131-7. ¥3,914. 数理モ

デルの解説を中心とした行動生態学研究入門書. (TK)

行動生態学（原書第2版）. —J. R. クレブス・N. B. デイビス. 1991. 山岸 哲・巌佐 庸（訳）. 蒼樹書房, 東京. 454 pp. ISBN 3045-002046-4256. ¥6,695.［原書: An Introduction to Behavioural Ecology, 2nd ed. John R. Krebs and Nicholas B. Davies. 1987. Blackwell Scientific Publications, London, UK.］行動生態学の標準的入門テキスト. (TK)

利己的な遺伝子. —R. ドーキンス. 1991. 日高敏隆・岸由二・羽田節子・垂水雄二（共訳）. 紀伊国屋書店, 東京. 548 pp. ISBN 4-314-00556-4 C0340. ¥2,800.［原書: The Selfish Gene, New ed. Richard Dawkins. 1989. Oxford University Press, London, UK.］従来の生物観を根底から揺るがした行動生態学・社会生物学の理論書. (TK)

生物の社会進化. —R. トリヴァース. 1991. 中島康裕・福井康雄・原田泰志（訳）. 産業図書, 東京. 18＋582 pp. ISBN 4-7828-0061-4 C3040. ¥6,200（税別）.［原書: Social Evolution. Robert Trivers. 1985. Benjamin, Cummings.］社会生物学・動物行動学の理論を知るためには必読の書. (TK)

魚類一般

サメ・ウォッチング. —V. スプリンガー・J. ゴールド. 1992. 仲谷一宏（訳）. 平凡社, 東京. 273 pp. ISBN 4-582-54221-2. ¥1,800（税込）. 原題は "Sharks in Question" で Smithsonian Answer Book というシリーズの中の一冊. えてしてこの手の本は俗っぽくなるが, まったくそんなことはなく, 非常に読みやすく勉強になる. 教科書にしてもよいのではないだろうか. (MM)

週刊朝日百科『動物たちの地球』第4巻（85-94号）魚類. —1993. 朝日新聞社, 東京. 各号32ページ程度. サイズ234×298 mm. 各号520円程度. グラビア週刊誌としてわれわれの目を楽しませてくれているこのシリーズも, 鳥類, 哺乳類, 昆虫などを経て, 10週にわたり魚類の部が刊行された. カラーの生態写真が主であるが, 最新の記事・情報も含まれている. (TS)

その他

上手な学会発表のために: Mac と IBM-PC によるプレゼンテーション. —川口吉太郎・Y. C. リー・掛樋一晃・三木康義・岩城正宏・鈴木茂生・林 浩司. 1993. 秀潤社, 東京. 266 pp. ISBN 4-87962-117-X. ¥3,800（税別）. いま流行の"デスクトッププレゼンテーション (DTPR)"を学会発表に絞って解説した本. 効果的なプレゼンテーションについても多くのページを割いており, 学会発表の入門書としても最適. (MM)

会員通信・News & Comments

魚類学雑誌
40(1): 122-123, 1993

ヨーロッパの博物館の研究者の動向
News on Some Ichthyologists of the Major Museums in Europe

ヨーロッパの博物館の研究者に関して, 暗い情報が飛び込んできたのでお伝えする. いずれも会員にとって重要な人たちに関することである. 最初は訃報である. 3月中旬に, コペンハーゲンの Bertelsen が肺癌のため亡くなった. コペンハーゲンの博物館の魚類部門は, 彼と Nielsen によって支えられてきた. Bertelsen が深海性アンコウ類の大家であったことは, よく知られている. 魚類学界は, Gibbs に続いて深海性魚類の第一人者をまた一人失った. パリでは, Bauchot 女史が博物館を去った. 彼女は定年で退職した後も博物館で毎日仕事をしていた. しかし, 彼女から来た最近の手紙によると, 若い人たちに研究室を譲らねばならず, 博物館で研究することができなくなったということである. 彼女は「まだやりたいことは山ほどあるが断念せざるを得ない」と述べている. 博物館の内部事情はかなり複雑で, それが彼女にとって不幸な結果を引き起こしたのであろう. 彼女は博物館の魚類標本や文献に関する生き字引であった. 彼女が博物館を去ったことは, パリの博物館にとっての損失であるばかりではなく, 世界の魚類学界にとっても大きな損失である. 博物館の標本や文献の故事来歴を知る人